

2月



# 美園小だより

令和8年1月30日  
さいたま市立美園小学校  
第188号 児童数 1043名  
Tel 048(812)6611  
Fax 048(878)6660

## 情報モラルを鍛える

校長 河野 秀樹



＜講演する佐々木成三氏＞

11月に始まった6年生との会食も、残り数回となりました。会話の中でよく見るマンガ（アニメ）として、「鬼滅の刃」「呪術廻戦」「キングダム」「スパイファミリー」「名探偵コナン」などが挙がりました。

その一つ「名探偵コナン」の主人公のコナンは、映画「黒鉄の魚影（サブマリン）」の中で、命を狙われながらも、仲間や警察など様々な知識をもった人や立場の人との会話を通して情報収集をしています。そして、コップで紅茶を飲む動作や指の立て方、ピアスの位置などの些細な不審点から、頭の中で一瞬のうちにバラバラの情報を一つに繋ぎ犯人を特定していきます。このような事件を通して、直感力が鍛えられているのです。しかし、卓越した直感力をもつコナンでさえ、「バイアスなどの罠にはまる」と間違った判断をする」と、佐々木成三さんは著書で述べています。

昨年12月に美園南中学校との小中一貫教育の取組として、両校の共通課題である「情報モラル」の学習を行いました。講師の佐々木さんは、埼玉県警で20年以上勤務され、刑事部捜査第一課では主にデジタル捜査班の班長としてデジタル証拠の解析などをしていました。現在はテレビ番組等のコメンテーターとして活躍しています。子どもたちには「『無知の知』を自覚し、先入観を排除して想像力を育てていきましょう」「人は知識や経験の差で見えている景色が変わり、入ってくる情報の量も変わるので、勉強することが大切です」

「デジタルの時代だからこそ、あえてみんなで一緒に活動するなど、アナログな方法で判断することが大事です」などと、クイズや経験談を基に熱く伝えてくれました。参加した6年生は感想で「自分が知っていることは確実に合っていると思うのではなく、その情報は『本当に合っているのかな』や『この情報はどこから流れてきたもので、誰が流したのだろう』と、一度立ち止まって考えることが本当に大切だと思いました」「今までよりも疑ったり、インターネットを使いすぎずに自分から調べたりしようと思いました（自分の目で確かめる）」「このことを家族に共有したいです」などと、自分を見つめ、学びを深めていました。

30名以上の保護者の方も参加してくださいましたが、佐々木さんは、子どもがネットトラブルに巻き込まれないためには、「交通安全指導と同じように、保護者が危険性や上手な使い方を理解して指導することが大事である」と話していました。私たち教員も業務の効率化のために、既にできることについては生成AIを活用していますが、できないことを外注する道具にはしないよう、留意していく必要があると思いました。

参考：「あなたのスマホがとにかく危ない」 佐々木成三 祥伝社